



カブドットコム証券株式会社
 (コード番号：8703 東証1部)
 代表執行役社長 齋藤 正勝

2009年5月21日

剰余金の配当の決議ならびに配当政策の基本方針の変更に関するお知らせ

当社は、平成21年5月21日開催の取締役会において、平成21年3月31日を基準日とする剰余金の配当を下記のとおり行うことを決議しました。また、配当政策の基本方針の変更についても決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成21年2月19日公表)	前期実績 (平成20年3月期)
基準日	平成21年3月31日	同 左	平成20年3月31日
1株当たり配当金	1,300円	1,300円	2,000円
配当金の総額	1,170百万円	—	1,898百万円
効力発生日	平成21年6月15日	—	平成20年6月9日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、財務体質の強化、将来の事業拡大に必要な投資のための内部留保を確保するとともに、配当性向30%程度の配当を実施することを基本方針としてきました。この方針に基づき、平成21年3月期の1株当たり配当金額は、配当性向33.3%となる1,300円と決定いたしました。

なお、当社は定款の定めにより、剰余金の配当については取締役会の決議によることとしており、期末配当金の支払いは平成21年6月28日に開催予定の定時株主総会に先立ち平成21年6月15日から開始する予定です。

<ご参考>年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
当期実績 (平成21年3月期)	—	1,300円	1,300円
前期実績 (平成20年3月期)	—	2,000円	2,000円

3. 配当政策の基本方針の変更について

当社は「2. 理由」に記載のとおり、配当性向30%程度の配当を実施することを配当政策の基本方針としておりました。しかしながら、今後につきましては内部留保および資本効率性等の状況の変化に対応しつつ柔軟な株主還元を行えるよう、配当性向30%以上の配当の実

施を基本方針とすることに変更いたしました。

なお、当社の主たる業務である金融商品取引業は、株式等の市況の影響を大きく受けるため、その予想が非常に困難であることから業績予想は開示しておらず、また同理由から配当予想についても開示しておりません。今後、配当予想額について決議した場合には速やかにお知らせいたします。

以 上

わたしたちは**MUFG**です。

カブドットコム証券 <http://kabu.com>

東証1部 [8703]